

エネジン 購入費の最大20%助成 モニター付きドアホンの設置で

エネジン（浜松市、藤田源右衛門社長）は1日、モニター付きドアホンの購入費を助成するサービスを始めた。同社が取り組む地域貢献活動の一環で、防犯に役立てる。

具体的には、お客さま宅に訪問した際、振り込み詐欺を注意喚起するチラシを配ったり、営業車に「パトロール中ステッカー」を貼って巡回・見守り活動を行ったりするなど。

新サービスの直接のきっかけは、ガスの点検員を装って家に押し入り、住人を羽交い締めにして金品を奪う強盗事件が、県内で最近発生したことだ。新型コロナウイルス感染症の感染拡大で在宅率が上がり、同様の被害を受けるリスクが高まっている。警察も警戒している。

最近のモニター付きドアホンには録画機能があることから、設置済みの家は犯罪者が警戒して避ける抑止効果があるという。また、来訪者の映像や音声を携帯電話に転送して対応できるドアホンもあり、留守宅を狙う空き巣の防犯も期待できる。

助成の対象になるのはパナソニック製の3機種で、価格は機能の違いにより2万～10万円に分かれる。購入費の15～20%をエネジンが助成する。県内全域が対象で、申込みの締め切りは12月30日まで。受け付け次第、取付工事を順次開始する。工事費用は購入費とは別に1～2万円かかる。

同社担当者は「当社の利益を度外視した割引率になっている。ドアホン設置を機につながりができて、新規契約につながればありがたい」と語る。